

ゆげ

弓削弓つくりの郷（滋賀県竜王町）

- 建設から35年以上経過した水路の老朽化が進み、その機能維持が地域の大きな課題となっていた。
- 平成19年度から開始された共同活動支援により、用水路の目地詰め、排水路の側壁の補修（現場打ち水路）等に直営で取り組む。
- さらに、向上活動支援交付金を活用して、これまで予算的・技術的に取り組めなかった水路の補修・更新等を実施。このように、集落が主体的に水路の維持・保全を実施し、将来に亘る農業生産基盤を維持。
- また、濁水防止に関する活動を通じて、地域における節水等の意識が向上。

【地区概要】

- ・取組面積 70ha
（田 68.8ha、畑 1.2ha）
 - ・資源量
開水路 9.8km 農道 4.0km
 - ・主な構成員
農業者、自治会、老人会、婦人会、
子供会、農村保全会、OB会
 - ・交付金 約5百万円（H26）
- 〔 農地維持支払
資源向上支払（共同、長寿命化） 〕

地域における課題



- ほ場整備から35年以上が経過し、水路等施設の老朽化が顕著となっており、ほとんどの水路で水漏れ等が発生していた。

- 老朽化した水路の補修・更新等については今後さらに対応が困難になることが想定され、これらにどう対応していくかが大きな課題となっていた。

- 琵琶湖の水質保全のため、濁水防止の取組を進める必要性があった。

- 災害対応等を含め、地域のつながりがもともと強い地域だが、高齢化等が進む中、これをどう維持していくかが課題となっていた。

集落による水路の補修・更新の取組

- 老朽化した水路において、施設の点検結果を踏まえ、簡易な側壁の補修や目地補修を直営施工で実施。
- 老朽化が著しい水路においては、向上活動支援交付金を活用して、計画的に一部更新。
- 本取組により集落が主体的に水路の維持・保全を実施。

排水路の側壁の補修
（現場打ち水路の直営施工）

用水路の目地補修

排水路の補修
（土のうによる補強）

老朽化が著しい水路の一部更新

水質保全への取組

- 琵琶湖の水質保全に資する濁水防止のための活動を通じて、地域における節水等の意識が向上。



濁水防止のための啓発活動

水質保全活動
（透視度調査）

濁水防止のための水路溝畔等の補強

持続的な地域活動

- もともとつながりが強い地域であったが、本対策により、災害対応等も含め、継続的な地域活動が可能になった。